

2020年12月9日

報道関係各位

三菱地所株式会社

CDP 気候変動 2020 評価結果に関するお知らせ 最高評価「A リスト」に初選定

三菱地所株式会社（以下、「当社」）は、国際環境非営利団体 CDP による、2020 年度の気候変動に関する調査（以下、CDP 調査）において、最高評価の「A リスト」企業として、初めて選定されました。

CDP 調査は、他 ESG 評価等と比較して、調査内容が「気候変動」に特化していることが特徴であり、具体的には、「目標設定」「具体的な行動」「情報開示の透明性」等の観点から評価がなされます。また、「A リスト」には、これらの観点で世界を先導している企業が選定されており、2020 年度は、調査対象の 5,800 社強から 270 社（うち日本企業は 53 社）が「A リスト」に選定されています。なお、国内の総合不動産会社*1 が「A リスト」として選定されることは史上初であり、かつ今年度唯一の選定企業となっています。

*1 総合不動産会社：CDP 調査の Sector において「Real estate」に分類される企業を指す。

この結果は、当社グループの気候変動に関するイニシアティブへの加盟・賛同（SBT**2 策定、RE100**3 加盟・TCFD への賛同等）や、気候変動関連情報開示の拡充（TCFD 提言に基づく情報開示の実施等）、他取り組みの推進（環境関連数値の第三者保証の取得等）を図ったことによるものと考えております。

【CDP について】

環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家等の要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、対策を促すことを主たる活動とする非営利組織。環境問題に関して世界で最も有益な情報を提供する情報開示プラットフォームの一つ。2020 年度は、運用資産規模で 106 兆米ドルに達する 515 社強の機関投資家と調達規模で 4 兆米ドルに達する 150 社強の購買組織が CDP の活動に賛同し、世界の時価総額 50% 強となる 9,600 社強の企業が CDP を通じて環境情報開示を実施。



なお、この取り組みは、「長期経営計画 2030」の一環として策定した「三菱地所グループの Sustainable Development Goals 2030」の重要テーマ*4 の一つ「Environment」に位置付けられるものと考えており、今後、グループ全体の温室効果ガス中長期排出削減目標（SBT**2 認定）及び再エネ電力比率目標（RE100**3 加盟）の達成に向けて、再エネ由来電力の導入を中心に各種施策の展開をより一層進めてまいります。

また、TCFD**5 に基づく情報開示（2020 年 5 月に初開示）については、更なる情報開示の拡充の検討、およびシナリオ分析結果を踏まえた気候変動に関するガバナンスや事業戦略のさらなる強化も図っていく所存です。

当社は今後も、気候変動に関する取り組み等をグループ全体で着実に実践することで、長期経営計画に掲げる「社会価値の向上」、ならびに持続可能な社会の実現を目指したサステナブルなまちづくりを推進してまいります。

- ・三菱地所グループ サステナビリティサイト

<https://www.mec.co.jp/j/sustainability/>

- ・三菱地所グループ サステナビリティレポート 2020（上記サイトのダイジェスト版）

<https://www.mec.co.jp/j/sustainability/report/>

- ・三菱地所 統合報告書 2020

<https://www.mec.co.jp/j/investor/irlibrary/annual/index.html>

【注釈】

※2 SBT：

産業革命時比の気温上昇を 2°C未満に抑えることを目指し、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標設定を促す国際的なイニシアティブ。

※3 RE100：

事業活動で使用する電力を 100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアティブ。

※4 「三菱地所グループの Sustainable Development Goals 2030」の重要テーマ：

「Environment」「Diversity & Inclusion」「Innovation」「Resilience」の 4 つを重要テーマとして策定。

※5 TCFD：

G20 の要請を受け、金融安定理事会（FSB）により設立された気候関連財務情報開示タスクフォース。

【参考】他 ESG 株式指数等の選定状況について

■GPIF が採用する 4 種類全てのインデックスに選定

世界最大の年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は、以下 4 つの ESG 株式指数を採用し、同指数に連動するパッシブ運用を行っておりますが、当社は、4 つ全ての指数に構成銘柄として継続的に選定されています。

- ・ FTSE Blossom Japan Index
- ・ MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数
- ・ MSCI 日本株女性活躍指数
- ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

■DJSI Asia Pacific Index の構成銘柄に選定

ダウ平均・S&P500 を算出する米国 S&P Dow Jones Indices 社が組成・運用を行う世界的な ESG 株式指数「Dow Jones Sustainability Indices」のアジア太平洋地域版「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に選定されました。

■GRESB リアルエスエイト「5 スター」取得

不動産会社・ファンドを対象とした世界的な ESG 評価である「GRESB リアルエステイト評価」について、既存物件ポートフォリオに関する評価である「GRESB スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」において、総合スコアのグローバル順位で上位 20%に与えられる最高位「5 スター」を今年度初めて取得しました。

以 上